

USBフラッシュメモリ（USBメモリ）は便利で、一度使ったら手放せないほどのです。昔のフロッピーディスクよりずっと手軽で、しかも大容量。価格も下がり、一層身近になってきました。一方、USBメモリーを狙うコンピューターウイルスが発生するなど、注意が必要な場面も増えていきます。USBメモリーの使いこなし方と注意点を2回に分けてお送りします。（ライター 斎藤幾郎）

USBメモリーの基本技①

USBフラッシュメモリはその名の通り、USB端子につないで使うフラッシュメモリです。デジタルカメラで使うメモリーカードと同様、半導体を使ったデータ記録装置で、現在は容量が2〜16^{ギガ}バイト（GB）の製品が主流です。

1台で数百GBを超す外付けハードディスクと比べ、保存できるデータ量は少ないものの、使い道は豊富です。ワードやエクセルなど個人データのバックアップ先ができるし、職場と自宅データを持ち歩くのにも便利。誰かにデータを渡したり、パソコン買い替え時のデータ移動に使ったりと、ちょっとしたデータの保存先に最適です。

購入の際は、まず容量と価格をチェックしましょう。データの読み書きが速い製品は、値段が少し高めです。予算次第ですが、4GBから8GBの製品が手軽でしょう。

ウィンドウズ・ビスタの「ReadyBoost（レディブース

データの一時保存に最適

ト」対応とある製品は、USBメモリにシステムのデータを一部記録させて、ビスタの動作速度を改善します。でも、最近のパソコンは性能が十分すぎても多いようです。

メモリーに最初から特定のソフトが収録されているものや、データを暗号化して保存する機能を持つものなどもあります。形も多様。オーソドックスな板状のものからメモリーカード

のようなコンパクトなもの、エビフライなどの形をしたお遊び感覚のものなどたくさん出ています。特殊な形状のものは、パソコンのUSB端子の配置によってうまく挿せないこともあるので気をつけましょう。

端子をキャップで隠すタイプはキャップをなくしやすいのが難点。メモリーの後ろに取り付けられるものや、端子がスライドして出てくるものなどの方が使いやすいでしょう。

画面のファイルを即コピー

ウィンドウズXPやビスタのパソコンでは、USBメモリーを動かすのに必要なドライバ（駆動用ソフト）が標準搭載されているため、USBメモリーをUSB端子に取り付けるだけで自動的に使え準備が進みます（図）。準備が終わると、USBメモリーをデータの保存先として使えるようになります。

「リムーバブルディスク」などある画面が表示されたら、「フォルダを開いてファイルを表示」の項目を選ぶといいでしょう。「マイコンピュータ」を開いた場合は、やはり「リムーバブルディスク」という名で表示され、D、E、Fなどの「ドライブ名」が追加されます。同じパソコンでも機器の接続状況によってドライブ名が変わるの

てく生活入門

で、使用時に確認しましょう。

USBメモリーにファイルをコピーする際は、対象のファイルを右クリックして表示されるメニューから、「送る」↓「リムーバブルディスク」と選ぶと素早く操作できます。

用が済んだら、画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」をクリック。「USB大容量記憶装置ドライバを安全に取り外します」を選んで、取り外し許可を待ちましょう。「デバイス」の部分は他の表記になっている場合があります。エラーが表示されたら、使用中のソフトやウィンドウを閉じると解決することが多いようです。

デジタルカメラで使うメモリーカードも、USBメモリーと同様に使えます。メモリーカード用のスロットがパソコンになれば、USB接続の「カードリーダー」を買えばいいでしょう。

USBメモリーやメモリーカードは手軽にデータをやりとりできますが、それがトラブルの原因になることがあります。今回は、そうしたトラブルと対策について解説しましょう。

USBメモリー操作の基本

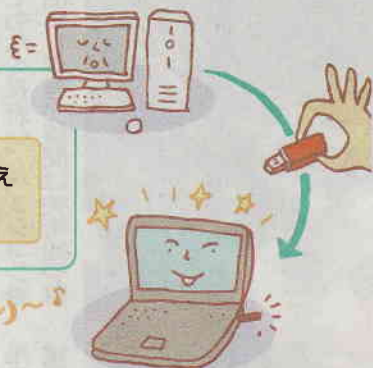
こんなときに便利

個人データの
バックアップ

オフィスと自宅で
ファイルの持ち歩き

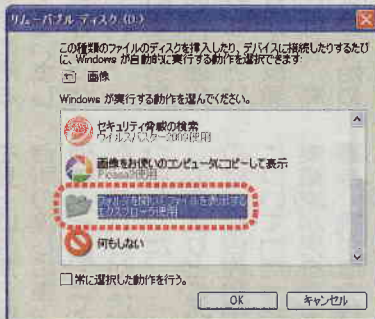
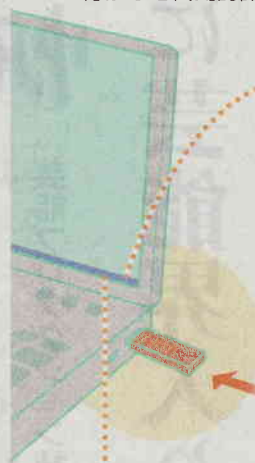
だれかに
データを渡す

パソコン買い替え
時のデータ移動



USBメモリーの使い方

USB 端子に取り
付けると自動認識



こんな画面が出たら操作を選択。
迷ったら「フォルダを開いて～」を選ぶ

USBメモリーの取り外し方

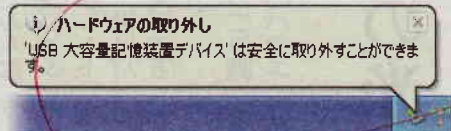


このアイコンをクリック

「USB 大容量～を安全に取り外します」をクリック

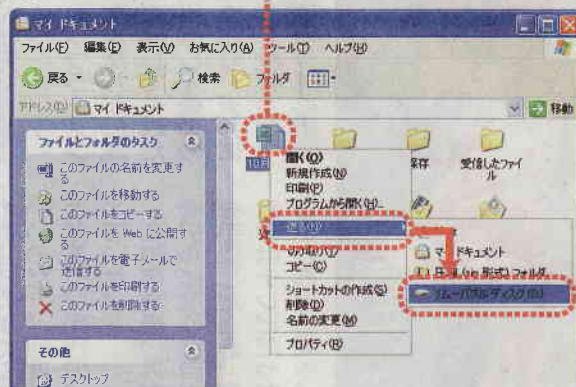
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (D:) を安全に取り外します

このメッセージが出たら取り外し

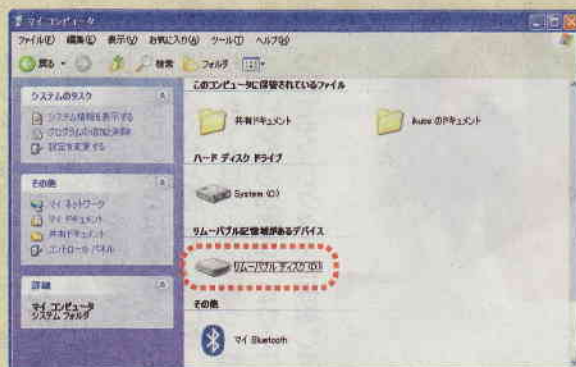


「送る」機能で簡単コピー

1 コピーしたいファイルを右クリック



2 「送る」 → 「リムーバブルディスク」を選択



USBメモリーは「リムーバブルディスク」
というドライブになる